

NPO法人 共に歩む市民の会 会 報

共に歩む市民の会広報委員会

通巻 第54号

〒241-0022

横浜市旭区鶴ヶ峰 2-1-16

☎ 045-953-6727

2019年 1月 1日 発行

巻頭言 旭区50周年に寄せて

旭区福祉保健センター長 岡ノ谷 雅之

新年あけましておめでとうございます。

平成最後の年となる今年、旭区は誕生50周年を迎えます。区内では様々なイベントが予定されており、祝賀の機運はますます醸成されています。

旭区が誕生してからこれまでの半世紀を振り返りますと、「障害者総合支援法」や「障害者差別解消法」が施行され、障害者を取り巻く環境は大きく変化し、特に近年は精神障害者に関する支援や人権擁護の動きが進んでいます。

これもひとえに「共に歩む市民の会」の皆様をはじめ、当事者、支援者、関係機関が手を取り合って、精神保健福祉の発展に向け積極的に取り組んでいただいた賜物だと思っています。この場をお借りして御礼申し上げます。

さて、「共に歩む市民の会」は、「旭区地域生活支援拠点ほっとぽっと」の前身であるフリースペース「たまり場」を運営するため、1997年（平成9年）に設立されました。

旭区には、当時から精神科病院やクリニックが多数立地し、多くの精神障害者の方々が地域で生活しており、当事者の地域生活を支援するため、安心して過ごせる居場所づくりが課題となっていました。

そのような中、「日中は病院のデイケアや地域作業所があるけれどももっと交流できる場が欲しい」という当事者からの声を受け、「たまり場」がスタートしたと聞いています。

「たまり場」の運営にあたり、旭区役所も開設当初から支援させていただきましたが、この活動が、2005年（平成17年）の「ほっとぽっと」の開設につながったものと思います。

「ほっとぽっと」は、当事者による活動がたいへん活発で、これは開設当初からの伝統であるとともに、旭区内外の関係機関や地域の方々も関わり、多様な取組が行われています。

このように「ほっとぽっと」に多くの方が集うのは、「たまり場」からずっと運営を支え続けてきた、「共に歩む市民の会」の裾野の広い活動によるものだと思います。

これらの活動により、精神障害者をはじめとする多くの障害者の地域での生活が支えられています。

一方で、区内には精神科病院に長期に入院されている精神障害者の方々がまだまだたくさんいらっしゃいます。その中には福祉が必要だけでも、福祉が届いていない方々もかなりの数いらっしゃると思っています。

「共に歩む市民の会」の皆様には、今後も区内で生活するすべての障害者が、住み慣れた地域で自分らしく生き生きと暮らせるよう旭区の精神保健福祉の発展に向け、引き続きの御協力をお願いします。

最後に「共に歩む市民の会」の今後の増々の御発展と、会員の皆様の御健勝と御活躍を祈念いたしまして、新年の御挨拶とさせていただきます。



旭区マスコットキャラクターあさひくん

新春のお慶びを申し上げます 2019年元旦

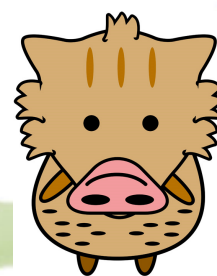
昨年は3年半かけて取り組んだ「当事者が明るく楽しく、よりよく過ごすためのアンケート調査」の報告がまとまりました。回答を寄せてくださった方がたや協力してくださった方がたに向けて、報告会もいま実施しているところです。

皆さまの声を大事にしながら今年は事業の展開をしていきます。かかわるスタッフや私たち自身の向上も図っていききたいと思います。『夢をかたちに』をモットーに、夢を抱いて実現していききたいと思います。

皆様方のご支援ご指導をよろしくお願いいたします。

わたし
トシ男

特定非営利活動法人 共に歩む市民の会
理事長 深井浩治



ほっとぽっと2019

施設長 田中梨奈

新年を迎え会員、関係者の皆様に新春のお慶びを申し上げます。日頃のご支援に感謝すると共に、本年も引き続きのご支援ご協力をお願い申し上げます。

ほっとぽっとの今年の動向をお伝えします。現時点でわかる範囲ですが一言で言うと、近年ない大きな変化があります。当施設は横浜市の精神障害者地域生活支援センターという位置づけですが、センターが求められている機能（仕事）が、新たにいくつかあります。

国が打ち出した考え方の柱が「誰もが地域で安心して自分らしい暮らしができるように」「地域全体で支える・共生社会を実現する」ことです。それに沿って「精神障害にも対応した地域包括ケアシステム」を構築するため準備が進められています。

具体的には、現在市内にA型とB型という2種類のセンターがあり、機能に差があるのを「標準化」ということで、4か所のセンターでモデル事業が始まっています。おそらく今年は、ほっとぽっとの開所日数や時間の拡大が始まるでしょう。センターの相談機能の拡充ということが言われて久しいですが、拠点での相談だけでなくアウトリーチによる専門相談や啓発等の地域づくりも今以上に増やしていくこととなります。

また、3障害全体を見渡した「地域生活支援拠点」という地域の仕組みづくりが同時に進められ、住まいや緊急時や「親亡き後」等の対応を関係機関のネットワークで行い、支援からこぼれることがないように連携してゆくことになっています。

今年度から開始した退院サポート事業も、いくつかの病院から個別相談を受け関わって退院に至った方もおられます。また、「キャラバン隊かめ」が複数の病院に入り、患者・職員・家族の皆さんに、当事者の視点で風を吹き込みよい効果をもたらしています。この活動には他機関のスタッフの見学や協働の希望も多く寄せられています。

こうした期待に沿うべく職員一同チームを組み、当事者・ご家族・関係機関・地域の皆様と連携し責任を果たして行く所存ですのでよろしくお願い致します。



「旭区誕生50周年を祝って」

共に歩む市民会会員 長谷川 京子

私の娘はちょうど50年前（昭和44年）に誕生し、26歳の時に精神の病を発症しました。7年間位は自分達で何とかしよう頑張りましたが、無理でした。

区役所から旭区の精神障害者家族会「あけぼの会」を紹介されて入会し、泣き泣き話す私を、皆さんにやさしく迎え入れて頂いたお陰で、心がたいへん軽くなったことを覚えています。また、旭区生活支援センター「ほっとぽっと」がオープンされると同時に、娘は「ほっとぽっと」にお世話になりました。そして、現在に至っています。

以下に、娘と共に歩んできた、旭区でのこの50年を振り返ってみたいと思います。

旭区は50年前に保土ヶ谷区より分かれて誕生しました。

私は昭和16年からずっと現在の旭区に住んでいますが、昔は、本当に田舎でした。

思い出すことは、帷子川は蛇行がはげしく、6月の大雨や台風で何回も氾濫し、川の近くに住んでいた方は床上浸水があり、田んぼの稲刈り寸前の稲穂が水に浸かるなど、大きな被害が出たこともありました。農家の方々はたいへん苦勞されました。

今は、河川工事のおかげで大丈夫です。そんな田んぼや畑、雑木林がどんどん切り開かれ、次々とニュータウンや団地ができ、子供達の元気な声があちこちでも、こちこちでも聞こえました。それでも、まだまだ緑は沢山あり、横浜から相鉄線で鶴ヶ峰駅に降りるとなぜかホットします。

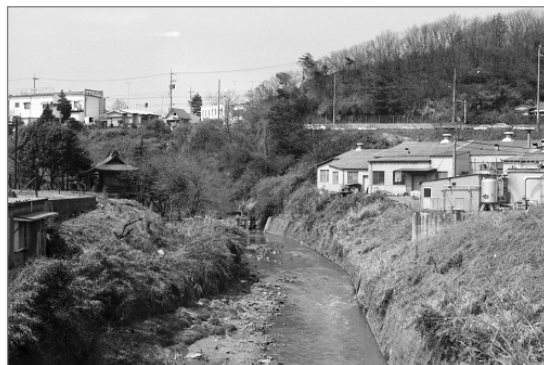
道路に沿って桜並木や銀杏並木があちこちにあり、自然公園があり、折々の季節を感じることもできます。横浜の水道を担う水道道も若葉台入口で見えることもできます。ズーラシアも開園し、多くの人達が訪れています。

さて、旭区の将来はどうなっていくのでしょうか？

私は赤ちゃんからお年寄り、そして障がいを持っている人達に対しても、住んでいる一人ひとりが暖かい気持ちを持てますよう、願ってやみません。

旭区役所の皆様方のご努力、並びにいつもお世話になっている生活支援センター「ほっとぽっと」のスタッフの皆さんに、心から感謝申し上げます。

これからも、どうぞよろしく願います。



帷子川・鶴舞橋上流地点
(1982年撮影)



鶴ヶ峰交差点付近 (1978年撮影)

写真出典：横浜市旭図書館収録「旭区風景写真アーカイブ」 撮影者：柳澤美光氏

2019年 1月~4月 市民の会・ほっとぽっと スケジュール

★ やみなべ会（市民の会会員のつどい） ジャ〜ン！ 年に一度の‘リアル・ナベ会’

日時 1月23日（水） 18:00〜 場所 ほっとぽっと本館2階

日ごろ市民の会とほっとぽっとにつながってくださっている方、会員の方、ナベ🍲を囲んでワイワイと ポソポソと語り合いませんか。お気軽にどうぞ。

★ 第20回 旭区精神保健福祉セミナー 〈当事者体験発表 + 講演〉

日時 2月23日（土） 13:00〜15:55 場所 旭公会堂（旭区役所4階）

テーマ 「精神障害者の新しい扉 ～今までの20年とこれから～」

講師 増田 一世 氏（公益社団法人 やどかりの里／さいたま市）

地域に向けた「セミナー」開始のきっかけとなったのは、やどかりの里との交流でした。20年の間に何が変わり、何が変わっていないのでしょうか？ ご来場お待ちしております！

★ 地域をつくろう！ 私たち（当事者）が聴いた仲間の声

～ 当事者ニーズアンケート・報告会 【総集編】 ～

日時 3月9日（土） 13:30〜15:30

場所 旭区福祉保健活動拠点「ばれっと旭」（スーパー三和・鶴ヶ峰店のとなり）

アンケート企画・実施にあたった当事者、研究者、協力者が聴き取った声をお伝えします。

★ 『もちより朗読会』 読みたいものを持ち寄ろう！ 〈朗読時間：おひとり10分×8人まで〉

日時：3月22日（金） 14:00〜 場所：ほっとぽっと別館・サロン

参加費（飲み物・お菓子付）100円 聞きたい人もどうぞ。 ⇒ 問い合わせ 川田まで

★ 旭びあくらぶ より 今後の予定・速報（日時は未定ですが…まずはお知らせ）

3月下旬ころ、恒例のお花見会。ズーラシア近くの公園まで出かける予定。

4月に高尾山（トリックアート美術館ほか）へのバスハイクも計画中です。

また、3月にピア活動の勉強会も予定しています。ほっとぽっとニュース等でもお知らせしますが、関心のある方はお問い合わせください。

<理事会報告>

（第64回）H30年11月21日（木）18:30〜21:00 理事9名、担当職員他2名 出席

審議事項

①労務規定見直しの件 ②自立生活援助事業の実施の件 ③ほっとぽっと職員雇用の件他
常勤職員就業規則のシフト制などについては、センターの標準化が決定した時点で検討する。
自立生活援助事業を新規事業として申請することが承認された。

共に歩む市民の会会員を募集しています

私たちの活動に賛同して下さる方、どうぞ会員となって支えてください。

一人でも多くのサポーターが必要です。私たちと共に歩んでくださる方々を募集しています。

編集後記

今号は事務局会で企画し、理事の連係プレーによる編集作業でした。年の瀬のご多忙な中で貴重な原稿をお寄せくださったセンター長と長谷川さん、どうもありがとうございました。新年が平穏で良き年でありますように!!（川田）